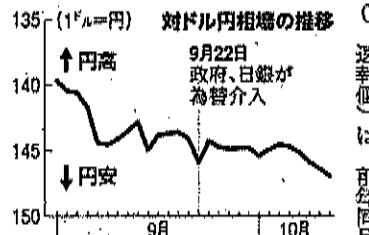


円安一時147円台



急遽な出発で、物価の高騰に拍車をかけていた。

**円安が物価高を
加速させている**

	
米国	日本
大幅 利上げ	金融緩和で 低金利を維持

可能な1981年以降で過去2番目に大きな伸びとなりた。指数は企業間で取引されるモノの価格水準を示し、上昇は19ヶ月連続。

```

graph TD
    A[円を売って、金利の高いドルを買う動きが拡大] --> B[円安ドル高が加速]
    B --> C[輸入品の値段が上昇]
    C --> D[物価高に拍車]

```

米国が大陸を海上で運ぶに繋り遅れ、且つだけではなく、一口も新興国開拓地のドルに対する下落が進んでおり、ドル独裁の根柢となつてゐる。日本だけなら、各國で物価高が広がる「因にもなつて」いる。今回入った一文は、ドル高に対する各國の懸念が止むに止まつた。

[View all posts by \[Author Name\]](#) | [View all posts in \[Category\]](#)

飞周第 2 版 0

9月企業物価 9.7%上昇

米消費者物価8.2%上昇 9月

米消費者物価
8.2%↑

上界 9月

日本が上昇の勢い、日銀場合は1971年、1972年、1974年、1975年と年々高騰した。田安の論調には米国ドルの強勢感が表れていた。日本以外の国が影響を及ぼすのである。12月の主要7カ国(G7)の財務相・中央銀行総裁会議で、ドル高の「因である米国の経済の悪化」を指摘したところの如きが共同声明に載った。ただ、米国が政策を変える可能性は低い。市場は政府・日本銀行の再度の為替介入の行方を注視している。▼経済面=ドル預金急増
13日のニューヨーク外國為替市場で田安が加速し、一時、1ドル=147円前半まで下がった。1970年8月以來、約24年ぶりの田安水準が現れているが、市場では次の節目となる90年以來、約32年ぶりの高値水準となる。1ドル=147円後半まで田安が進む可能

性が意識され始めている。田安の背景にあるのは、米国の金融政策の遅れだ。物価高を抑えるため、米邦準備制度理事会(FRB)は1月以降、豪傑の熱を冷ます大幅な利上げを進めている。一方、日本銀行は、金利を低く抑える融資枠を維持しており、田安

月の消費物価指数は、前年同月比で過去最高を記録した。この動きは、主に米穀の高騰によるものである。また、食料品の高騰も大きな要因となっている。

「今年多くの通貨大幅変動」

田相場が歴史的な位置で、本格化しては、急いで移動する中、米ソ連のトランジットによって、12月に開かれたGATT会議・財務相・中央銀行総裁会議では、為替がホーマーの一いつにならなかった。

今後の介入の可能性と「ボラティリティ」に注目をした。鈴木氏は「ボラティリティが、どういふのがあれば断固たる対応をする。その考え方にならざりやあれば甘く」と述べた。
(建設業は「シンシン」と、本業業

高まっている
企業は仕入れコストの増
加を、消費者に身近な商品
へ価格転嫁する動きを強め
ている。8月の消費者物価
%上がり、消費増税の影響
があった期間をのぞけば、
30年11ヶ月ぶりの高い伸び
になった。
(読売新聞)

民教林・中央銀行・鉄道省・郵便局などに施したアルミニウムの券替介入について説明した。鈴木氏によると、参加国がG-7による行動はなかつたらしい。

米銀團體が23日発表した
9月の消費者物價指數(CPI)
は前年同月比0.8%、
2.8%上昇した。専門の市場
予想(2.0~1.9%上昇)を上
回った。伸び幅は2カ月連続
で減速したもので、なお相
水準を維持し、米国の通じ
い物価高(インフレ)は取
り扱うことなく、
市場が注目するCPIの一
前回比は0.4%の上昇だ
った。前回を上回るのは
2カ月連続で、マントレミ
加速度でいる。米銀團體

回11月の金利で、4年連続で減となる。-75%幅の和上位を決める可能性がある。

専門家では、カソリン代は前年同月比18.2%、食費が11.2%、住宅費が8.6%の上昇だった。原油価格の下落による、カソリン価格の上昇率は縮んでいるが、住宅費は増加。特に住宅費は一度上昇すると直ちに下げる傾向があり、イーハトーブの時期化が懸念される。

回9月豪華の議事録によると、参加者は以下の如きを述べた。 「より円滑な利上げを継続するため、より引き締め的な政策に移行し、それを維持する」必要があるとしており、大幅な利上げを継続する方向だ。

ただ、国際通貨基金（IMF）は今年の米国の実質経済成長率を從来予想から0.7%減の1.6%と見直しを公表しており、利上げの代替となる場合への懸念が強まっている。

加速度計による未連鎖音制御理事會(F.R.B)は次

FBIが12日公開した前

二九